



■せき・しげお
上智大卒。1978年東京海上火災保険（現東京海上日動火災保険）入社、2008年東京海上ミレア少額短期保険取締役、09年4月副社長、同6月社長。東京都出身。

トップは語る

——2012年度から新規3カ年中期計画が始まった

「08年度の事業開始以来、11年度に初めて単年度黒字を達成した。それまでは保険契約準備金を積むことに注力してきた。これにより、内部留保を厚くすることができ、利益体質になった。これを機に、3カ年計画『ニューグローイング2014』を策定し、品質やサービスでお客様や代理店から選ばれる少額短期保険業界のリーディングカンパニーを目指す。最終利益は年間3億～4億円を安定的に出せるようにしたい」

——利益体質を強化するには

「一層のコストダウンが必要だ。物件費面では申込書などの紙を減らしウェブ化を進める。証券のウェブ化も12年度中には実施する予定で、環境への配慮とコストダウンを実践していく。一方で、女性の活用も積極的に進めていく。女性が働きやすい職場としての取り組みが評価され、横浜市から2年連続で『よこはまグッドバランス賞』を受賞した。女性には営業担当として活躍してもらい、しなやかさ、受け応えのさわやかさを生かしていく」

——商品開発については

「扱っているのは家財保険だが、さらに充実させていく。昨年の東日本大震災のときに喜ばれたのが『新・お部屋の保険』の『地震災害費用保険金』。他社は扱っておらず、われわれのアドバンテージになり得る。今後もお客さま、大家さま、不動産会社に喜んでいただけるような魅力ある商品を開発していく」

——少額短期保険は収受保険料が50億円に制限されているが

「順調に成長している中でそろそろ限度額に近づいてきている。会社の方向性として、いろいろな可能性を思索している。今期中に結論を出したい」 (松岡健夫)

東京海上ミレア少額短期保険社長

関 栄男さん (58)

家財保険が好調 今後さらさら充実